英語原文
https://chinatribunal.com/wp-content/uploads/2019/04/April_BB16_Submission_ID295V_YuJing_PD.pdf

ユ・ジン　Yu Jing (ID 295V)　中国民衆法廷　陳述書

拘束歴：
法輪功学習者を対象とした迫害で３回違法に収監。
１度目：2000 年２月　―　河北省 廊坊(Langfang)留置所で 33 日間拘留。
２度目：2000 年８月　―　河北省 廊坊拘置所に 20 日間拘留。
３度目：2000 年９月　―　河北省 廊坊拘置所に 10 日間拘留。その後、越城(Yuecheng)洗脳班に 20 日以上拘留され、洗脳班の警官に拷問を受け、死にかけ、緊急治療のため、河北省 廊坊の中国石油天然気配管局中央病院に運び込まれる。医師は私の身体に磁気共鳴撮影をし、心臓の冠状動脈に疾患があると告げた。

拘留理由は法輪功の修煉者であるため。

2000 年３月に「釈放証明書」を受け取る。その後、一切、公式書類は受け取っていない。

証言：
2000 年９月、洗脳班でひどく強姦されました。家に戻ってから、家族はまた私が中国共産党に連れ去られるのではないかとひどく恐れ、義理の妹（姉？）に付き添われて上海に生かされました。2002 年 12 月 25 日から 2007 年 12 月まで上海に滞在しました。上海では Jixian Courier Company(ジーシエン宅配会社)を設立しました。５年後、廊坊に戻りました。

2006 年４月、法輪功学習者が生きたまま臓器を収奪されているというニュースに衝撃を受けました。明慧ネット（法輪功学習者が投稿するウェブサイト）に掲載されていました。私は上海の中山（ジョンシャン）医院に行き、この病院で臓器移植がどのように行われているかを調査しました。中山（ジョンシャン）医院の一階のロビーから入り、同じ階の受付にいき尋ねました。「友人の家族が臓器移植を必要としています。どの課に行けばいいですか？」

70 才を超えた白衣の男性の医師が、「適合が必要なので、多くの試験をしなければならずとてもわずらわしい」と答えました。私は、「そのようなことは医師のやることです。患者の家族は何をする必要があるのですか？」と尋ねました。彼は答えました。「金です」。「お金なら問題ありません」と私は答えました。すると彼は、「患者をここに連れてきなさい」と言いました。私は、「いつ移植手術ができるかによります。手術前には来ますが、臓器の入手に 3 年、5 年、8 年、10 年かかるのなら、それほど前に患者が来るのは望ましくないでしょう」と答えました。彼は「それほどかかるのなら、患者は死んでしまいます。この病院では半月で臓器移植ができます」と言いました。私は「70 才や 80 才の老人の臓器を使うのなら、臓器もそれほどもちません。どうするのですか？」すると彼は「いいえ。臓器は全て若者からの健康な臓器です。患者に来るようにいいなさい」と答えました。「臓器を提供する人にお金を払うべきでしょうか。家族にお礼を言うべきでしょうか」と尋ねました。彼は「その必要はありません。ただ病院に支払えばいいのです」と言いました。「腎臓 1 つにいくらかかるのですか」と尋ねたところ、彼は「40 万元かそれ以上。50 万元用意しておけば安全です」と答え「患者はどこにいるのですか」と尋ねました。私は「河北省です」と答えました。彼は「患者に早く来るように伝えなさい」と言いました。

この個人的に行った調査のあと、この病院の医師に関する情報を集め、法輪功学習者が生きたまま臓器収奪されているという真相を伝える資料を郵送しました。より多くの人が中国共産党の邪悪な性質を知るように、自分の宅配会社を利用して、資料を配送したのです。